

JALグループ機内誌 The Inflight Magazine of the JAL Group

スカイワード

SKYWARD

October 2008

12

パリ

Paris, France

文房具店
パペットリーの
ある暮らし

Malaysia

マレーシア 聡明な国

Osaka

美の町 大阪



ご搭乗のお客様はご自由にお持ち帰りください。

パリ

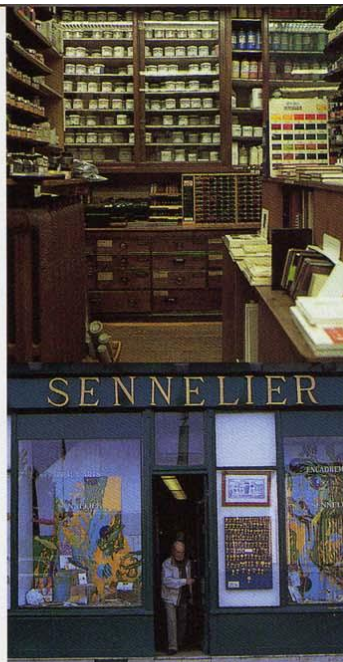
Special Feature

Papeteries in Paris

かつて留学生としてパリで暮らしていた頃、作家・堀江敏幸は、好みの文房具を探して「パペトリー」と呼ばれる文房具店をたずね歩いていた。文房具だけではなく、書籍や雑誌、雑貨、ときには駄菓子まで扱っているパペトリーや、パリならではの、洗練された文房具だけを扱う専門店——。久方ぶりにパペトリーを巡ろうと、思い出深い街を再訪した。日常のなかで育まれる、文房具への思いと出会う旅へ。



1720年創業の「ラ・メ
ゾン・デュ・パステル」
にて。鮮やかな色は使
い込んでも変わらない。



Magasin Sennelier

マガザン・セヌリエ

▶▶ Map P80 Number ①

6区の「美術学校」の近くにある画材専門店。ラ・メゾン・デュ・パステルの商品も扱っている。店内には、資料室のような大きな棚が並び、絵の具やパステルをはじめさまざまな画材がそろっている。

パリの中央、

ボンピドゥー・センターの裏手からマレー地区にむかつてのびているランビュト通り二十番地、いびつな舗石の敷かかれている薄暗いトンネルを抜けた中庭のつきあたりに、波打つような模様の装飾ガラスと磨りガラスがはめ込まれた、年代物の白いドアが見える。

パステルの専門店「ラ・メゾン・デュ・パステル」。一七二〇年創業という歴史のある店だから、格式も高くとっつきにくいだろうとの予想は、若き女主人イザベル・ロッシェさんの終始おだやかな話しぶりにみごと裏切られた。相手から目をそらさず、的確な言葉を選び、質問に対して過不足のない受け答えをするそのさまは、有能な経営者を思わせる。だが、彼女こそ、パリから一時間ほどの郊外にある工房で、たったひとり、代々伝わる門外不出のレシピに改良

を加えながら、一本一本パステルを作りつづけている、まごうかたなき職人なのだ。

現在地に工房を構えたのが一九一二年。調度はほぼ当時のままだ。入って左手の壁一面が色ごとに分類されたパステルの棚になっていて、活版活字をならべた印刷所か、錬金術師の実験室のように見える。電灯をつけるさ

び付いた真鍮のトグルスイッチ、めずらしい木製の電気配線カバー、三〇年代の

立派な工業用フロアランプ、天井にとりつけられた重々しい二枚羽の扇風機、そして窓際に置かれていた数台の電熱器。どれもこれもアンティークショップでしかお目にかかれないようなものばかりで、雰囲気は申し分ないのだが、小売店らしい構えはない。

国立土木学校を卒業後、大手石



Special Feature Papeteries in Paris

伝統にほんの少しモダンな感覚をくわえて、閉鎖的な雰囲気を打ち破ろうとしている。

「伝統を守って、知る人ぞ知る存在であろうとするのもいいけれど、もう少し開かれたものになりたい、と思ったんです。ただし、開かれすぎないように、とも」

パステルは、言うまでもなく画材である。しかし、広い意味では、文房具に数えて差し支えないだろう。フランス語で文房具のことを

「パペトリリー」というのだが、この単語にはまた、それらを扱う文房具店の意味もある。現在のフランスのパペトリリーは、ラ・メゾン・デュ・パステルのように、洗練されたごく少数の定番のみを扱う「高級な」パペトリリーと、質はもちろん、歴史や伝統や手触りなどまったく意に介さない、単なる消耗品としての文房具を売るごく「一般的な」パペトリリーとに二極化していて、その中間が存在しない。

前者はパリの中心部に集中し、後者はどちらかというと周辺部に近い区域に散在している。とくに後者は、文房具だけでなく書籍や雑誌、雑貨を扱っている場合も多く、場合によってはヌガーやボンなどの菓子類を売っていることもあるし、いまをときめく日本アニメのキャラクター商品の数々、韓国産のリュックサック、エイズ撲滅キャンペーンの腕輪、画材に



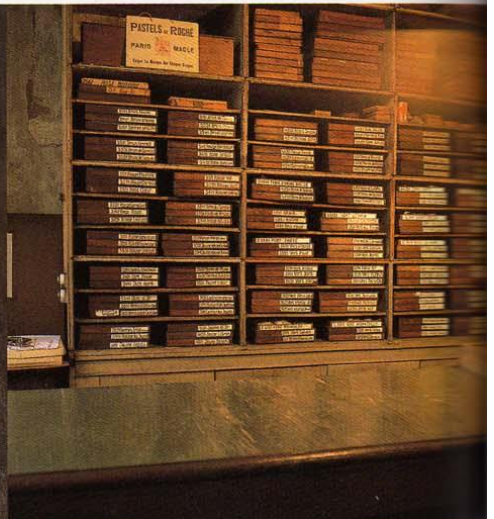
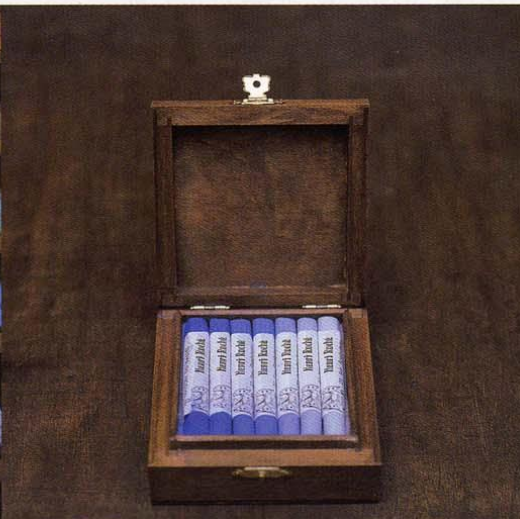
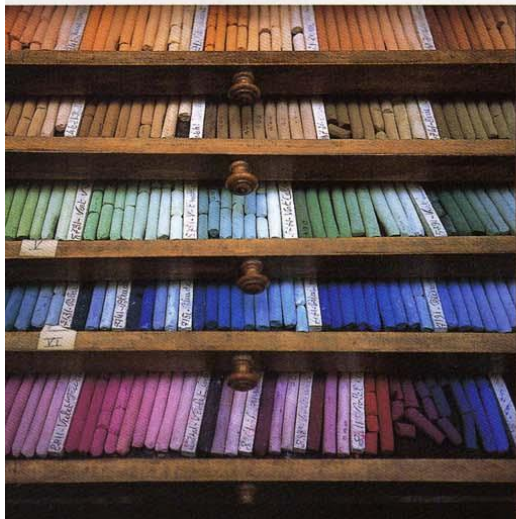
歴史を重ねた街では
文房具を巡る
新しい伝統が
生み出されている。

La Maison du Pastel

ラ・メゾン・デュ・パステル

▶▶ Map P80 Number ③

店主のイザベル・ロッシュさん（上）。店内の棚に収納されているパステルはすべて手作り。





Special Feature
Papeteries
in Paris
Information

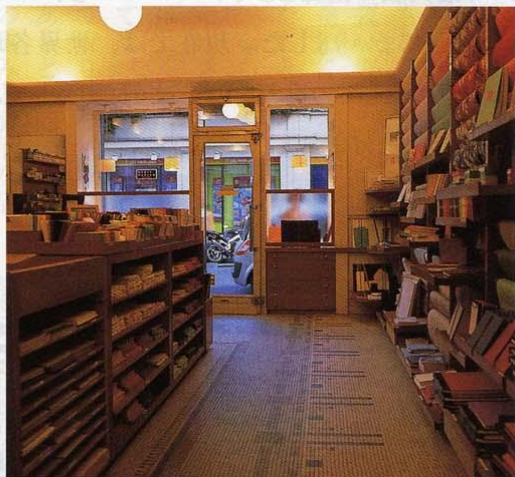
パリのパペトリー案内

パリの散策には、
パペトリー巡りも。
好みの文房具を手に入れたら、
使うたびに、
旅の思い出が広がる。



<パリへのアクセス>
JAL便が成田と名古屋
(中部)から毎日、関
西からもコードシェア
便が毎日運航。

Paris France



Map Number ②

マリー・パピエ

紙専門店の
洗練された
色づかい

Marie Papier
26, rue Vavin 75006 Paris
TEL : 33-1-43-26-46-44
FAX : 33-1-46-34-64-45
www.mariepapier.fr

色づかいにこだわったレターセットやノート、小物などは、ひとつひとつ手作り。ノートで1000円くらいから。発色の美しい繊細な色と素材から、オーナーのマリーさんの文房具を大切に思う気持ちが伝わってくる。



Map Number ①

マガジン・セヌリエ

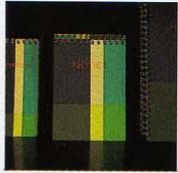
かつての
常連客には
ピカソの名前も

Magasin Sennelier
3, Quai Voltaire 75007 Paris
TEL : 33-1-42-60-72-15
FAX : 33-1-42-61-00-69
www.magasinsennelier.fr

1887年に創業。現在の店主セヌリエさんは3代目。1階と2階に充実した品ぞろえの画材道具が。1940年代にピカソが来店し、当時の店主へ「新しい絵の具を作らないか」と相談をもちかけ、商品が生まれたエピソードもある。



Map Number ⑤

フィロゾフィ**斬新で
グラフィカルな
デザイン**Filofoi
68, rue de Grenelle 75007 Paris
TEL : 33-1-45-49-96-02シルクスクリーンを
取り入れた手法でプ
リントした、グラフ
ィック模様のノート
が定番商品。店長の
アルベルティノさん
は、自分の店の商品
をこよなく愛する人
物。アーティストイ
ックなポストカード
や写真集なども。

Map Number ④

ジュール・フェリー高校書店**書店から
“高校の前の
文房具店”へ**Librairie du Lycée Jules Ferry
55, rue de Douai 75009 Paris
TEL : 33-1-40-16-06-07高校の前に位置する
パベトリー。店名に
含まれる「Librairie」
はフランス語で「書
店」を意味するが、
ノートやペンなどの
定番商品もならぶ。
客層を考えて、アニ
メキャラクターの入
った雑貨なども置い
ている。

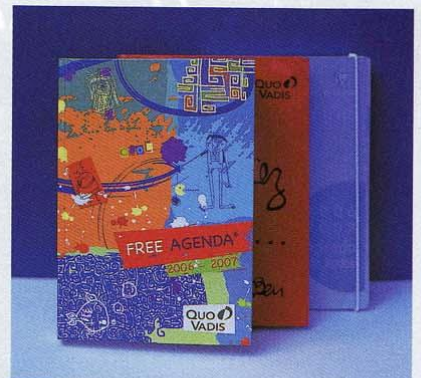
Map Number ③

ラ・メゾン・デュ・パステル**予約が必要な
パステルの
老舗店**La Maison du Pastel
20, rue Rambuteau 75003 Paris
TEL : 33-1-40-29-00-67
www.lamaisondupastel.comお店として営業する
のは、木曜日の14~
18時の4時間だけな
ので、電話かメール
で必ず事前の予約を。
パステルはセットと、
1本単位でも販売を
しているが、色によ
り約10~18ユーロ(1
本当たり)で値段が
異なる。Special Feature
Papeteries
in Paris**Information**

Map Number ⑧

ミモジャ**世界各国の
雑誌も
そろう店**Mimogea
15, rue des Abbesses 75018 Paris
TEL : 33-1-42-52-01-55芸術の街、モンマル
トルに店を構えたの
は35年前のこと。お
客のニーズに応え、
世界各国の雑誌が充
実している。観光客
も多いため、パリの
地図などもそろって
いる。モンマルトル
界隈の歴史とともに
歩んできた店。

Map Number ⑦

トレ**ポップな
色彩が躍る
街の文房具店**Trait
52, rue des Abbesses 75018 Paris
TEL : 33-1-42-23-25-32
www.trait.frフランス製のものに
限らず、世界中から
集めた文房具も取り
そろえている。イラ
ストレーターと共同
で制作したオリジナ
ルのアルバムや、フ
ランス国内で人気が
あるキャラクターの
カードなど、ポップ
な商品が多い。

Map Number ⑥

ミュルテイ・フョイユ**定番の
文房具から
ギフト商品まで**Multi Feuille
87, Bd. de Magenta 75010 Paris
TEL : 33-1-42-46-09-75商品を選んでいるオ
ナーのケダンジェ
さんは、長年勤めて
いた文房具メーカー
の営業職から転身し
た経歴をもつ。「なに
が売れるのか」を模
索しながら、自分が
気に入った文房具を
お店に置くことも楽
しんでいる。